

第1回浜松市わくわく発見!UDレポートコンテスト

全体講評

わくわく発見!UDレポートコンテストは、「身の回りのUDを探し、探したものを共有することを通してUDの理解を深めてほしい」という思いから、今年度から新たに始めたコンテストです。

第1回ということで、主催者もわくわく、ドキドキでしたが、小学生から537点、中学生から3点、高校生以上の部では大学生を中心に290点、合計830点の作品が集まりました。どの作品からも、作者が感じたUDが新鮮に伝わってきて、「UDを発見すること」にとどまらず、「見つけたUDを共有すること」によって、街の中や生活の中での気づきが広がることを実感いたしました。

審査のポイントは

- ①UD レポートの発信者として、自分の目で見て感じて、新しい発見が
できていること
- ②UDレポートを見る側において、自分のUDへの思いがよく伝わるよう
に表現されていること

の2つの視点から行いました。

既に何かで紹介されているUDを、ただきれいに描くとか、わかりやすく説明しているだけではなく、作者が発見したときの情景や驚き、それをわかりやすく伝える工夫があることなどを評価の対象としました。

今回入賞された作品を見ていただくと、いろいろなUDが見えてくると思います。受賞された方もそうでない方も、このコンテストを通して、日常生活の中で、UDにさらに興味を持っていただくことを願っております。

静岡文化芸術大学

デザイン学部 デザイン学科

教授 小浜 朋子